

組合だより
JA **おからく**

'18 **9** 月号
vol.196

平成30年9月10日発行

発行：おかやま酪農業協同組合
責任者：笹野 英明
津山市川崎94-1
☎(0868)26-1101

平成29年度
「牛乳大好き! 絵画コンクール」受賞作品



優秀賞 教育長賞 岡山市立西大寺中学校2年 藤原 愛莉
—絵の説明— おいしい牛乳を飲むと、広い牧場でのびのびと生きている牛さんの顔が思い浮かぶ。

現況調査まとまる

乳牛総頭数は14,607頭

平成30年8月1日現在での現況調査を行いましたので、その結果をご報告いたします。組合員の皆様には、ご協力いただき、ありがとうございます。

☆戸数・頭数

乳牛の飼養戸数及び頭数は表1のとおり227戸、14,607頭と前年8月に比べ戸数では6戸減少していますが、頭数では540頭増頭しています。品種別ではホルスタイン種は12,876頭(529頭増)ジャージー種他は1,731頭(11頭増)でした。

飼養戸数の内訳は、表2のとおり関係機関を除く搾乳農家が219戸、育成農家4戸、関係機関4戸です。また、肉用牛飼養農家は33戸でした。

経産牛頭数は10,483頭(303頭増)育成牛頭数は4,124頭(237頭増)。1戸当たりの平均飼養頭数は64.3頭、平均経産牛頭数は46.2頭。育成牛率は28.2%となり、前年と比較し0.6%ではありますが増加しました。

☆各地区の飼養状況

乳牛飼養総頭数を地区ごとに見ると(表1)南支所では、西大寺地区が75頭減少、備南地区が794頭増頭、びほく地区が32頭減少。津山支所では、勝英地区が128頭減少、津山地区が22頭減少、真庭地区が3頭増頭となり全体では備南地区の増頭により、540頭の増頭となりました。

また、育成牛率で全体の平均より高い地区は津山・西大寺・真庭の順となっています。

☆飼養頭数別の酪農家戸数

表3の飼養頭数別酪農家戸数をみますと30頭未満の飼養農家は80戸(35%)、30頭から49頭の飼養農家は57戸(25%)、50頭から79頭の飼養農家は47戸(21%)、80頭以上の飼養農家は43戸(19%)となっています。

☆哺育素牛・肥育・和牛繁殖関係の頭数

和牛繁殖関係の頭数

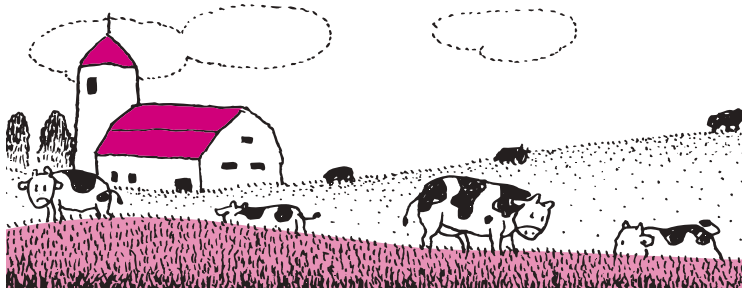
哺育素牛・肥育・和牛繁殖牛の総頭数は7,055頭です。うち哺育

乳牛頭数等取りまとめ表(表1)

平成30年8月1日現在

	南 支 所				津 山 支 所				おからく 合 計
	西大寺	備南	びほく	小計	勝英地区	津山地区	真庭地区	小計	
乳牛飼養戸数 (対前年増減)	41 (-1)	28 (-5)	30 0	99 (-6)	35 (-2)	45 1	48 1	128 0	227 (-6)
乳牛総頭数 (対前年増減)	1,753 (-75)	4,519 794	1,131 (-32)	7,403 687	2,209 (-128)	2,184 (-22)	2,811 3	7,204 (-147)	14,607 540
経産牛頭数 (対前年増減)	1,173 (-113)	3,373 700	877 (-16)	5,423 571	1,689 (-117)	1,456 (-109)	1,915 (-42)	5,060 (-268)	10,483 303
経産牛頭数の 占める割合(%)	11.2%	32.2%	8.4%	51.7%	16.1%	13.9%	18.3%	48.3%	
経産牛率(%)	66.9%	74.6%	77.5%	73.3%	76.5%	66.7%	68.1%	70.2%	71.8%
育成牛率(%)	33.1%	25.4%	22.5%	26.7%	23.5%	33.3%	31.9%	29.8%	28.2%
ホルスタイン種	1,727	4,512	1,097	7,336	2,208	2,180	1,152	5,540	12,876
ジャージー種他	26	7	34	67	1	4	1,659	1,664	1,731

※酪大第1牧場及び第2牧場は1農場とする。



(生産支援課)

自給飼料の作付面積については、
全体で1,622ha、スーダン・ソ
ルゴー、とうもろこし、その他牧草
の順でした。

☆飼料作付面積

農家、肥育農家、和牛繁殖農家の飼
養するホルスタイン・F1・和牛等
の頭数は6,393頭となっていま
す。
また、酪農家の飼養する和牛・F
1・等の哺育素牛・肥育・和牛繁殖
牛の総頭数は662頭です。

おからく 現況調査総括表(表2)

平成30年8月1日現在

		南 支 所				津 山 支 所				おからく 合 計
		西大寺	備 南	びほく	小 計	勝英地区	津山地区	真庭地区	小 計	
酪農家戸数	搾乳農家	39	28	30	97	35	41	46	122	219
	育成農家	1			1		3		3	4
	合 計	40	28	30	98	35	44	46	125	223
関係機関戸数	搾乳農家	1			1		1	1	2	3
	育成農家				0			1	1	1
	合 計	1	0	0	1	0	1	2	3	4
酪農場総数 (乳牛飼養戸数)	搾乳農家	40	28	30	98	35	42	47	124	222
	育成農家	1			1		3	1	4	5
	合 計	41	28	30	99	35	45	48	128	227
肉用牛飼養農家戸数		2	4	2	8	9	11	5	25	33
総農家戸数(関係機関を含む)		43	32	32	107	44	56	53	153	260
ホルスタイン 頭 数	6ヶ月未満	119	204	69	392	119	182	89	390	782
	6~24ヶ月	413	824	167	1,404	372	516	257	1,145	2,549
	24ヶ月以上	1,195	3,484	861	5,540	1,717	1,482	806	4,005	9,545
	合 計	1,727	4,512	1,097	7,336	2,208	2,180	1,152	5,540	12,876
	うち経産牛頭数	1,157	3,369	851	5,377	1,688	1,454	791	3,933	9,310
ジャージー他 頭 数	6ヶ月未満	3	1	3	7		2	142	144	151
	6~24ヶ月	7	1	3	11			366	366	377
	24ヶ月以上	16	5	28	49	1	2	1,151	1,154	1,203
	合 計	26	7	34	67	1	4	1,659	1,664	1,731
	うち経産牛頭数	16	4	26	46	1	2	1,124	1,127	1,173
乳用牛総飼養頭数		1,753	4,519	1,131	7,403	2,209	2,184	2,811	7,204	14,607
経産牛頭数		1,173	3,373	877	5,423	1,689	1,456	1,915	5,060	10,483
乳用牛1戸当たり飼養頭数		42.8	161.4	37.7	74.8	63.1	48.5	58.6	56.3	64.3
乳用牛1戸当たり経産牛頭数		28.6	120.5	29.2	54.8	48.3	32.4	39.9	39.5	46.2

※酪大第1牧場及び第2牧場は1農場とする。

市町村別酪農家戸数・頭数(育成農家・関係機関を含む)(表3)

平成30年8月1日現在

支所 事務所	市町村	平均 年齢	乳牛飼育頭数					経産牛頭数				飼育頭数別酪農家戸数								平均 頭数	
			6ヶ月 未 雌	6ヶ月 満 子	6ヶ月 ～ 24ヶ月	24ヶ月 以 上	計	前年頭数 H29.8.1	搾 乳 牛	乾 乳 牛	肥 育 牛	経 産 牛 計	1 ～ 9	10 ～ 19	20 ～ 29	30 ～ 39	40 ～ 49	50 ～ 59	60 ～ 79		80 以 上
南	赤磐市	36	5	9	22	36	34	17	4	0	21				1					1	36
	岡山市	64	51	182	498	731	724	417	65	0	482	1	2	3	2	1	1	2	3	15	49
	吉備中央町	52	17	64	170	251	266	145	12	0	157		1	1	1	1		2		6	42
	倉敷市	37	3	7	34	44	43	30	4	0	34					1				1	44
	瀬戸内市	68	44	150	465	659	726	407	51	0	458	2	2	3	1	2	3	4		17	39
	備前市	61	2	8	22	32	35	16	5	0	21				1					1	32
	小計	62	122	420	1,211	1,753	1,828	1,032	141	0	1,173	3	5	7	6	5	4	8	3	41	43
支備南	浅口市	63	6	2	78	86	101	69	9	0	78	1	1					1		3	29
	井原市	62	16	32	109	157	194	90	12	0	102	2			1				1	4	39
	笠岡市	49	162	674	2,918	3,754	2,874	2,541	288	3	2,832							2	8	10	375
	倉敷市	57	16	64	269	349	361	227	31	0	258		3		1	2	2	1		9	39
	総社市		0	0	0	0	19	0	0	0	0									0	0
	高梁市	36	1	47	87	135	134	67	9	0	76								1	1	135
	矢掛町	71	4	6	28	38	42	23	4	0	27				1					1	38
	小計	55	205	825	3,489	4,519	3,725	3,017	353	3	3,373	3	4	0	3	2	2	4	10	28	161
	南支所 計	59	399	1,415	5,589	7,403	6,716	4,802	618	3	5,423	9	16	15	14	9	8	12	16	99	75
津英	勝央町	57	60	183	832	1,075	1,120	710	105	0	815		2		2	5	1	1	4	15	72
	津山市	57	1	6	48	55	85	42	5	0	47			1	1					2	28
	奈義町	58	51	164	670	885	929	569	94	0	663		2	2	2	1	2		4	13	68
	西粟倉村	67	4	15	141	160	40	121	16	0	137	1		1						2	80
	美作市	52	3	4	27	34	163	23	4	0	27		1			1			1	3	11
	小計	58	119	372	1,718	2,209	2,337	1,465	224	0	1,689	1	5	4	5	7	3	1	9	35	63
支山	岡山市	60	64	151	425	640	624	361	57	1	419	2					1	3	3	9	71
	鏡野町	62	7	22	72	101	105	59	7	0	66			1					1	2	51
	久米南町	68	11	21	69	101	89	58	9	0	67								1	1	101
	津山市	56	85	243	648	976	1,017	546	91	1	638	2	2	5	4	3	4	3	1	24	41
	美咲町	56	17	79	270	366	371	216	50	0	266		1	3	2	2			1	9	41
	小計	58	184	516	1,484	2,184	2,206	1,240	214	2	1,456	4	3	9	6	5	5	6	7	45	49
所真庭	新庄村	68	0	1	7	8	8	7	0	0	7	1								1	8
	真庭市	56	231	622	1,950	2,803	2,800	1,629	279		1,908	1	4	8	5	6	6	6	11	47	60
	小計	56	231	623	1,957	2,811	2,808	1,636	279	0	1,915	2	4	8	5	6	6	6	11	48	59
津山支所 計	57	534	1,511	5,159	7,204	7,351	4,341	717	2	5,060	7	12	21	16	18	14	13	27	128	56	
合計	58	933	2,926	10,748	14,607	14,067	9,143	1,335	5	10,483	16	28	36	30	27	22	25	43	227	64	

※酪大第1牧場及び第2牧場は1農場とする。

スーダングラスについて

全国酪農業協同組合連合会 瀧本 慎也

7月の西日本豪雨で被害を受けられた皆様に心からお見舞い申し上げます。

はじめに

いつも大変お世話になっております。今年も猛暑続きで人・牛にとつて非常に厳しい夏となりました。異常気象により飼養管理がよりシビアになっておりますが、有効な暑熱対策へのアプローチを提案し、皆様の経営の一助になるよう努めてまいりますので、何卒、よろしくお願い申し上げます。

さて、そのような中、8月12日から18日まで長須職員とスーダン買い付けに米国に行つてまいりました。スーダン情勢については長須職員より報告されておりますので、ここではスーダンのグレーディングと買い付け内容について簡単に記載させていただきます。

スーダングラスのグレーディング(格付け)について

スーダンについてですが、アルファルファのように成分による格付けは行わず、茎のサイズおよび色調で格付けが行われています。一般的には茎が細く、色が抜けているものが上級品に格付けされます。(表1

参照)

また、雨当たりや雑草、茶葉の混入度合いにより格付けが下がります。

茎が細く、色抜きの格付けが高いのは、比較的牛の嗜好性が高く、硝酸態窒素が低い傾向にあるためだと思います。

しかしながら、右記のものが必ずしも嗜好性が高いと限りません。私も酪農場で「茎は細くて色も程よく抜けているけど、あまり食わないなあ」といった経験があったので、今回の買い付け検品では嗜好性の高いものをいかにして見分けるか、(食わねえぞ！と言われないように)

悩みながら行いました。嗜好性についてですが、①適期に刈られていること②雑草や茶葉混入が少ないこと③ペーリング前に吸湿や雨に当たっていないことが嗜好性の高さに特に関係していると考え、それらを外見と茎質の感触(柔らかく握るとサクサクと折れるもの)を判断基準にして検品を行いました。買い付けしたのについてですが、2018年産は色抜け品が少なく、良品と判断できるものが少なかったため、色抜きの買い付けは限定的となりま

した。例年より緑色の強いスーダンとなつておりますが、検品した中で良品と判断したものであるので、ご安心ください。また、硝酸態窒素については、ガイドラインに従い、安全とされている1,000ppm未満のもののみを買い付けしておりますので、こちらもご安心ください。

おわりに

今回、おからく管内向けのスーダン買い付けに同行させて頂いたいただき、大変貴重な経験をさせて頂いたこと感謝申し上げます。酪農生産者の皆様の経営向上に少しでも貢献できるよう努めてまいりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

色	色抜け		色青	
	ライトカラー	ミディアムカラー	スタンダードカラー	
茎				
細	スーパープレ			
		高い		
	プレミアム	高い		
	レギュラー(スタンダード)			
太	Bグレード(Cグレード)			

表1 スーダンの一般的なグレーディング

スーダン買い付け

津山支所 藤山事務所 長須 悠樹

8月12日から18日、アメリカカルフォルニア州へスーダン買付に行ってきました。

初めてのアメリカで、もしかしたら日本に帰れないかもしれないという不安と、おからく職員2年目で買付けという重い責任とで不安いっぱいでした。あと2時間で到着するということでお尻が浮くくらい機体が揺れたときは、ダメだと思いました。ですが10時間のフライト



検品風景

トで無事サンフランシスコ空港に着きました。関西空港を16時に出発してサンフランシスコに着いた時間は、11時でした。そして、空港でゼン・トレイディングの稲葉氏と合流し、昼食を取り、サンデイエゴへ2時間のフライト、その後車で2時間かけてやっと目的地エルセントロに21時到着しました。約21時間の移動でした。サンデイエゴは半袖では寒いくらいで17℃しかなく、2時間車で移動したエルセントロは34℃と気温差にビックリしました。朝ホテルの外に出たとき、肌が痛いぐらい日差しが強く、サングラスをかける理由がわかりました。移動の間、果てしなく続く圃場があり、冬場の野菜をつくる準備をしているところが多々ありました。

検品1日目はエルトロ社とウィルバーエリス社の2社を訪問しました。エルトロ社のスーダンは1番刈りが終わっており、2番刈りが後半をむかえているが、プレミアム発生量が少なくスタンダード中心で、茎のサイズが不揃いな物が多い。色抜け品については、いくらかは出ているが発生量が低いようでした。エルトロ社では計8スタック検品しま

した。ウィルバーエリス社のスーダンは、1番刈りの収穫が終わっており、2番刈りは60%終了。品質は寒暖の差でエコノミーが多く発生しているが茎は不揃いで茶葉が多いという話でした。今年は作付け量が増えたにもかかわらず在庫は、5,000ト少ない状況でした。ウィルバーエリス社では計16スタック検品しました。

検品初日は初めての検品での緊張、風もなく40℃を超える暑さと痛いぐらいの日差しの中でかなりハードな1日でした。

検品2日目は、リンキュービング社とボーダーバレー社を訪問しました。リンキュービング社のスーダンは、1番刈りが90%終わり、2番刈りは、柔らかい品質の物が発生している。色抜け品の物もあるが茎が不安定。リンキュービング社では計12スタックを検品しました。ボーダーバレー社のスーダンの1番刈りは終了。2番刈りは50%から60%終了している。品質は早刈りの物が多く例年より品質は良い。アリゾナ産の2番刈りについて、雨当たりが発生しており、下グレード物もあまりない状況。ボーダーバレー社では計50スタックを検品しました。

検品2日目は前日より気温が高く、前々日の移動と前日の疲れもあ



りヘトヘトになりましたが、辛うまのメキシコ料理で生き還りました。

検品3日目はクーンヘイ社を訪問しました。スーダンの状況は、1番刈りの遅刈りと2番刈りは茶葉の混入が多かった。また、先週発生したサンダーストームの影響が大きいとのことでした。クーンヘイ社では12スタック検品しました。

今回の買い付けでは、5社計98スタックの検品を行い、おからく用としてコンテナ約105本分の購入を予定してきました。今回初めて買い付けに行かせていただき、話は聞い

ていたのですが、壮大な圃場、乾草を工場で加工、1つ1つのスケールの大きさに驚きました。また、それぞれの会社の担当者やゼン・トレイディングの稲葉氏から説明を受ける中で、湿度が多いときの状態、茶葉の混入、色抜けの発生条件、日本地域別のこだわりなどいろいろなことを知ることができました。買い付けに関してですが、同行していただいた皆様のお力をお借りして、良い物を選んできたつもりです。実際届いたものが組合員の皆様に満足していただけることを切に願っています。



壮大な圃場

今回の買い付けにあたり、通訳と長距離の運転、ホテルや食事など全般にお世話していただいたゼン・トレイディングの稲葉氏、日本から同行していただいた全酪連瀧本氏など、多くの方にお世話になりました。皆様のご協力により無事に買い付けをして帰ってくることができました。本当にありがとうございます。

初めてのアメリカでの買い付けで、日本人精神で出された食事を残したら失礼だと思い、すべて食べきった結果4kg太っていました。ただいまダイエット中です。



グランドチャンピオン牛

第16回勝英地域畜産共進会・ 第15回勝英畜産物フェア開催

9月1日、「第16回勝英地域畜産共進会及び第15回勝英畜産物フェア」が勝田郡奈義町滝本グラウンドで、乳牛14頭（未経産）・和牛20頭の出品により開催されました。心配されていた雨も開会式までにはやみましたが、コンディションの悪い中での開催となりました。

乳牛は、家畜改良事業団 岡山種

雄牛センター 岡橋勇太氏により審査講評をいただきました。今回の審査が初めてということでしたが、迅速、的確な審査をしていただきました。グランドチャンピオンは勝央町石原保博さんの ガール シュークリン バロアー号が受賞されました。

また、同時開催された、畜産物フェアも関係機関等のご協力をいただき盛大に開催できました。グラウンドの状態が悪い中でしたが、大勢の方にご来場いただきました。

今回も消費拡大はもとより、来場者に酪農を体験・理解をしてもらうために、簡易骨密度測定・搾乳疑似体験等、いろいろな体験をしていただきました。これにより酪農・牛乳に興味を持っていただけたのではないかと思います。

最後になりましたが、開催が危ぶまれる状況でありながら、ご協力・ご後援いただきました関係者各位、ご出品・応援いただきました組合員の皆様、フェア出店をいただきました女性部の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございます。

(津山支所勝英地区)

吉原直樹さん所有

「グランデイルスーパー」 ピノ チヤント「ET」号

成年型で記録更新

吉原直樹さん所有「グランデイルスーパー」ピノ チヤント「ET」号（平成22年11月24日生、4産次、父名号 シャーレスデー ルスーパーテイション ET、決定得点92点）が、成年型305日乳量20,459kgおよび365日乳量23,624kgとなり、平成29年度検定成績優秀牛として、表彰されました。さらに都府県記録も更新いたしました。



笑味ちゃん天気予報がやってきた！

（RSKテレビ 月々金 18時50分より）

8月13日の笑味ちゃん天気予報で津山市の坂手美智子さんが紹介されました。

坂手牧場では、55頭の搾乳牛を飼養しておられ、うち5頭はチーズづくりに適しているとされるブラウンスイスです。また、スモークドビーフ（干し肉）・ジャークー・チーズ等も製造販売されています。

ご主人の茂則さんはお父さんから牧場を継ぎ、美智子さんとの結婚を機に牛舎の規模拡大をされました。借入金返済、3人の息子さんの教育費等忙しい毎日でしたが、その忙しい中にもご夫婦には「いつかは加工品もしたい」という夢がありました。（茂則さんはチーズ、美智子さんはジャークー）

加工品を取り扱うには食品衛生管理者の資格が必要で、長男の寛達さんに大学で資格を取得してほしいとお願ひしたそうです。ご夫婦でジャークーのつくり方を教わりに各地に出向いたり、友人に協力してもらい味付けを研究したり準備をすすめて、寛達さんが卒業後、加工品を始めることができました。

ジャークーは特製の桜チップで薫製しているので香りが高く、パリツとしていて表面が薄いが噛めば噛むほど味がじわりと口の中に広がります。さけるチーズは牛乳の香りがしてとても美味しいです。各方面からの問い合わせも多いそうです。また、年に3回から4回、三男の健吾さんと東京にPRに行かれるそうです。

美智子さんは、家の畑で栽培したにんにくや玉ねぎを使ったソース、庭先にある柚子を使ったドレッシングの販売もされています。自分が栽培し、安全が目に見えるものでつくりましたかと言われました。

茂則さんはお父さんから、農業ではなく他の職業に就きなさいと勧められていたそうです。しかし、農業はたくさんの友だちができることが何よりの魅力で、昔から父のそういう姿を見てきたので、農業を継ぎたいと思ったそうです。そんなお二人の背中を見て育った息子さんたちと



坂手牧場のご一家とRSK古米沙世リポーター

（生乳課）

一緒に夢がかなった坂手牧場。まだまだこれからも挑戦しますと笑顔で話をしてくださいました。

- ・月曜日は担い手・JA職員紹介
- ・火曜日は農畜産物の紹介・JA活動紹介
- ・水曜日は火曜日に紹介した農畜産物を使った料理の紹介
- ・木曜日はJA活動紹介
- ・金曜日はイベント紹介

番組では、曜日によりテーマを決めて放送しています。搾乳等忙しい時間の放送になりますが、都合のつくときはぜひ観てください。また、取材にもご協力くださいますようお願いいたします。

「乳和食料理講習会」開催

7月26日、「乳和食料理講習会」が津山地区酪農女性部・加茂ふれあい料理倶楽部会員参加のもと加茂町福祉センターで開催されました。

最初に、乳和食の特徴や健康で元気に長生きするため、積極的に乳製品を取り入れた食生活を心掛けてほしいとお話しました。

その後、4つのテーブルに分かれて「さけのミルクちらし寿司」など5品を調理しました。ミルクちらし寿司に使用する乳清とカッターチーズづくりから始め、皆さん手際よく次々と料理を完成させていきました。



カッターチーズづくり

試食の際、どの料理も「牛乳が



えーっと、次は何をつくりましょうか

入っていると全然わからない」と言われる人が多数で「これなら孫も食べるから家でつくってみよ」「思ってた味と違って美味しい」との感想をいただきました。

今回は、飲む点滴とも言われる甘酒＋ヨーグルト、オレンジジュース＋乳清を試飲してもらいました。皆さん「飲みやすいから家でも試してみたい」と大好評でした。

これからまだまだ残暑も厳しく熱中症も油断できません。積極的に牛乳・乳製品を摂りましょう。牛乳は「熱中症」を防いでくれる強い味方です！

(生産支援課)

牛乳を広めよう！

8月20日、一般消費者の『プラチナ女子部』の方々が、牛乳を使った料理講習会を開かれました。この会は、津山市の酪農家 藤木一予さんが「牛乳料理を教えて欲しい」と友だちから頼まれ講師となり、夏休みを利用して親子で行われたものです。

メニューは、7月末に津山地区で開催した乳和食料理講習会で調理した中から3品。牛乳と米酢でカッターチーズとホエイ(乳清)をつくり、そのホエイでご飯を炊き、カッターチーズを飾る「鮭のミルクちらし寿司」・夏の疲れには、「トマトとしょうがの洋風茶碗蒸し」・ホエイで果汁100%のジュースを割る「ホエイドリンク」です。

「美味しい。クセになる味。ホエイドリンクは味があまり変わらないけど栄養価がアップするのがうれしい」「試食をしながら牛乳の話なども聞くことができよかった。第二弾もやります」と、「プラチナ女子部」の代表の方がSNSに調理の様子や感想を投稿しておられました。

藤木さんも「少しでも消費者の方々に牛乳の栄養など良いところを知ってもらえたかも。そのためにも美味しい牛乳を出荷しなくてはと思

いました。冬にまた料理講習会やります」と言ってくれました。

職員が酪農家の皆さんに牛乳を使った料理を講習し、その講習会に参加された酪農家さんが一般消費者の方へ伝えていく、理想的な講習会になったと思います。「酪農家のお母ちゃんの料理教室」が各地で行われるよう、職員も勉強していきます。

小さな活動ですが、酪農への理解醸成、牛乳乳製品の消費拡大へとつながれば、大変良いことだと思います。

(生乳課)



美しい乳和食3品が完成

わからく酪農理解醸成交流会 in 蒜山ジャージーランド

8月8日、津山支所管内の若い酪農家の集い「わからく」主催により、酪農の現場と牛乳・乳製品の価値を知ってもらい、人々の豊かな食生活や多くの子どもたちの健康づくりに役立つことを広める目的として、栄養士や保育士を目標しておられる美作大学生を招いて蒜山酪農農業協同組合（蒜酪）・蒜山ジャージーランドにて交流会を開催しました。

蒜酪育成場の牧場見学から始まりました。私たちが歓迎するかのよう集まってきた人懐っこい性格の



ジャージー牛に「カワイイ!!」



搾乳体験

ジャージー牛に「カワイイ」の声飛び交い、スマホで写真を撮る沢山撮っておられました。搾乳体験では、酪職員の方から搾り方を教えていただき、緊張したようすで手搾りに挑戦する学生さんたち。恒例のわからく会員による手搾り競争ではプロの搾りに驚く場面も。

次に、ジャージーランドにてアイスクリームづくりを行いました。樽のようなアイスクリーマーを順番に転がすこと約10分、見事に出来上がったジャージーアイスクリームに歓声が上がりました。綺麗なクリー

ひろば

金太郎伝説

(津山支所勝英地区)

今回は、勝央町のマスコットキャラクターにもなっている、金太郎伝説について紹介します。勝央町は金太郎こと坂田金時が亡くなった場所として伝えられています。皆さんも足柄山で熊にまたがって馬の稽古という童謡はご存知かと思いますが、それ以外の事跡はあまり知られていないと思います。足柄山で、任地から帰京途中の源頼光に見出された金時は、頼光四天王の一人として、大江山の酒呑童子討伐等で名をあげました。その後九州に暴徒が襲来してきたので、その討伐に向かう途中、寒さと雪のため足止めされた勝央において、熱病にかかり亡くなったとのこと。

金時が仕えた源頼光という人は、撰津源氏の祖であり、御堂関白記等の歴史書にはっきりとした記録が残っています。しかしながら、金時達の事跡は酒呑童子、山姥、土蜘蛛等伝説的なものが多くなっています。勝央町のホームページでは金時は実在の人物とのことでしたが、調べてみると、藤

原道長に仕えていた下毛野公時という人が脚色されて、坂田金時という昔話でのヒーローとなっていたのではないかと推測されています。

勝央町の平地区に坂田金時が祭られた栗柄神社があります。神社というより祠といった趣でしたが、金太郎伝説を調べることで、撰関政治から武士の台頭していった時代に思いをはせることとなりました。歴史好きの方は一度訪れてみることをお勧めします。



栗柄神社



ム色で濃厚な味に大変喜んでいただきました。

最後はジャージー牛と高原野菜のバーベキューでした。まだ緊張気味な学生さんたちでしたが「わからく」の皆さんに大変盛り上げていただき、賑やかなムードの中、お腹いっぱいになったところで交流会は終了となりました。

今回は「わからく」13名、美作大生10名に参加していただきました。当日はとてもいい天気で、緑に囲まれ高原の風が吹く中、和気あいあいとした雰囲気有意義な交流会になりました。

酪農の現場を実際に体験してもらうことで、より理解を深め、新しい視点で酪農を捉え、消費拡大や教育の現場に反映していただくためにも、若い世代の方々に参加していただける会を今後も開催していきたいと思えます。

(津山支所)

お礼

このたび、勝田郡奈義町 安藤 政宏様より香典返礼金として、(一財)おからく教育振興会にご寄付をいただきました。事業主旨に従い、有効に活用させていただきます。ありがとうございます。



盛り上がったバーベキュー



アイスクリームづくり

理事 会 報 告

平成30年7月27日、第209回理事会を理事11名、監事3名出席し、開催した。

岡田組合長より酪農一般情勢等について報告された。

引き続き、次の事項を協議し、決定した。

○平成30年度生乳需給安定化対策

平成30年度6月の生乳生産の進捗状況等について報告した。

○出資減口の申し込み

やむなく出資減口の申し込みを承認した。

○報告事項

定例監事監査の実施、全戸巡回の

お礼

組合員の皆様、先日の全戸巡回訪問時にはお忙しい中、また暑い中、応対をいただき、ありがとうございました。その節、出資の増資へのご協力をお願いしましたところ、皆様方にご理解をいただき、厚くお礼申し上げます。

また、皆様からの貴重なご意見、ご要望をいただき、今後の組合運営に反映してまいりたいと思います。ありがとうございました。

人事

退職

平成30年8月31日付

梶岡 由嗣

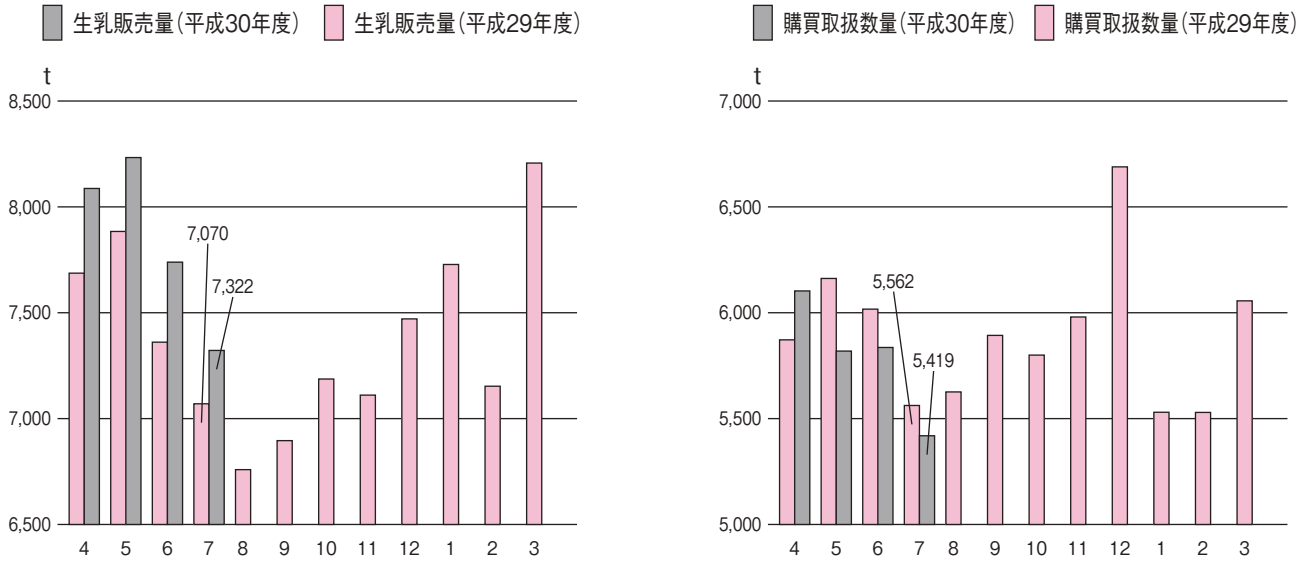
(南支所びほく事務所

ヘルパー)

大変お世話になりました。



おからく事業実績



生乳統計

※中央酪農会議速報より抜粋

地域	月	生産量(トン)	用途別処理量(トン)			前年比(%)			
			飲用乳等向け	乳製品等向け	その他	生産	飲用	乳製品	その他
全国	7	588,902	328,559	112,441	147,902	100.5	100.3	103.2	99.1
	4~7	2,399,798	1,294,394	516,994	588,406	100.5	100.6	100.5	100.4
岡山県	7	7,326	7,167	59	100	103.6	104.5	69.4	80.0
	4~7	31,406	30,090	823	494	104.7	105.4	94.3	85.3
北海道	7	333,391	88,059	102,637	142,695	103.2	108.7	104.0	99.5



9月の主な行事

- 1日 勝英地区畜産共進会・畜産物フェア
- 4日 酪農共済推進(～6日)
- 5日 後代検定ブロック会議
- 6日 登録システム研修
- 7日 蒜山地区乳牛共進会
- 19日 びほく地区乳牛共進会
- 20日 津山支所乳牛共進会
- 25日 管理職会議
料理コンクール書類審査
- 26日 JA主催監事研修(岡山市)
- 27日 備南地区乳牛共進会
- 28日 定例理事会
- 29日 備前地区乳牛共進会
新農業人フェア(大阪)

北海道初妊牛価格

8月については、猛暑や天候不順等の影響を受け、一部初妊牛導入に対する警戒感が見られたが、秋分娩が上場の中心となり、更新需要を中心とした一定量の需要が確保されたことから、平均価格は92万8千円(前月比±0円・前年比10万2千円高)と持ち合いで推移しました。

9月については、季節の変わり目を迎え、通常の更新需要に加え、暑熱事故等の代替需要が見込まれることから、相場は強含みで推移することが予想されます。